

編集 後記

去る7月22日には、日本の一部の地域でも皆既日食が観察でき、多くの報道で賑わいました。皆既日食は、太陽と月の大きさと地球との位置の絶妙な関係による、確かに神秘的ともいえる現象です。わずか数分間とはいえ、急に暗闇が訪れた映像を見ると、かつては、何かの予兆ではないかと恐れられたのも納得できる気持ちになりました。

私の子どもの頃にも日食があり、その時には教員の指導の下、色の濃い下敷きを利用したり煤を着けたガラスを作って眺めた記憶があります。今回は、そのような器具を用いる観察は、眼を痛める危険があるため「してはいけない行為」として紹介されておりました。これについては、なるほどと納得できた一方で、数十年前にはこうした情報が一般的ではなかったことにも少々驚きました。そして、今更ながら正しい科学的知識が普及することの大切さを実感させられました。

閑話休題、日本公衆衛生雑誌第56巻第8号は、地域高齢者の要介護認定のリスク要因の検討、平均余命と加重障害保有割合をもとにした地域特性の検討という興味深い二つの原著論文と、三つの連載に加え、第68回日本公衆衛生学会総会の演題が掲載されております。公衆衛生学会総会において新しい研究の発表が活発に行われますよう、そして本誌が、健康に関連する科学的研究成果の普及に一層役立ちますようお願いしております。(長田久雄)

次号予告 (第56巻・第9号)

原著

都道府県別にみた健康・栄養関連指標の状況と総死亡および疾患別死亡率……………林 芙美, 他

資料

住民と保健師の遺伝病に対するイメージに関する研究……………飯島久美子, 他
京都市における妊婦の喫煙・飲酒の状況について……………松村貴代, 他
大都市に住む一人暮らし男性高齢者のセルフケアを確立するための課題
高層住宅地域と近郊農村地域間の質的分析……………河野あゆみ, 他
愛知県麻しん全数把握事業における2007年患者報告状況と感染症発生動向調査との比較……………続木雅子, 他

連載

運動・身体活動と公衆衛生(18)……………新開省二
心理社会的要因の測定(6)……………堤 明純
保健師助産師看護師法の改正と保健師教育の展望(1)……………村嶋幸代

2009年日中医学交流会議

環境と健康—環境因子と疾病の変遷—

- 日 時：2009年10月7日（水）13：00～18：00
 会 場：日本医師会館 3F 小講堂（東京都文京区本駒込 2-28-16）
 主 催：日中医学協会，日本医師会
 後 援：厚生労働省，中華医学会，中華人民共和国駐日本国大使館，中日医学科技交流協会，日本アレルギー学会，日本皮膚科学会，日本公衆衛生学会
 参 加 費：会議 3,000円，懇親会 2,000円
 申 込 方 法：日中医学協会ホームページまたはメールにてお申し込みください。
 URL：http://www.jpncma.or.jp Email：symposium@jpncma.or.jp
 連 絡 先：日中医学協会 TEL：03-5829-9123 FAX：03-3866-9080
 プログラム：日本語・中国語同時通訳
 基調講演「環境化学物質と子どもの健康—特に胎児期曝露の次世代影響」
 岸 玲子（北海道大学医学部公衆衛生学分野教授）
 講 演 I 「中国の環境因子とアレルギー性疾病—特に花粉症を中心に」
 尹 佳（北京協和医院アレルギー科教授）
 講 演 II 「環境因子とアレルギー性疾病—特にアトピー性皮膚炎を中心に」
 奥村 康（順天堂大学アトピー疾患研究センター長）
 講 演 III 「中国の小児の疾病の変遷—特にアレルギー性疾患と喘息を中心に」
 趙 京（首都医科大学附属北京儿童医院教授）
 パネルディスカッション